

ソーシャルワーカーデイ 公開シンポジウム

切り拓く新たな社会福祉実践

～若手社会福祉士の挑戦～

社会問題に立ち向かうソーシャルワーカー

彼らは、どこで、どんな仕事をしているのだろう?
ソーシャルワークの最前線で活躍する
若手社会福祉士の皆さんから、
日々の仕事について語っていただきます。
社会福祉士養成校の学生、教員、この領域に
関心をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

2009年
12月5日(土)

午後1:00～4:00

▶ 関西学院大学上ヶ原キャンパス 社会学部1号教室
▶ 参加費無料



第1部

基調講演 「総合的かつ包括的な相談援助の展開～社会福祉士の新カリキュラムが意味するもの～」

岩間 伸之氏 (大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授)

第2部

パネルディスカッション

→パネリスト ←

藤田 孝典氏

(NPO法人ほっとネット代表・独立社会福祉士事務所ほっと代表)

荒木 澄玲氏

(住吉・御影あんしんすこやかセンター[地域包括支援センター]社会福祉士)

金澤 ますみ氏

(大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー)

→コメンテーター ←

岩間 伸之氏

(大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授)

→コーディネーター ←

川島 恵美氏

(関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科専任講師・実践教育支援室室長)

主催:関西学院大学人間福祉学部 共催:日本社会福祉士養成校協会兵庫県支部

後援:日本社会福祉士養成校協会、日本社会福祉教育学校連盟、日本社会福祉士会(予定)

切り拓く新たな社会福祉実践

～若手社会福祉士の挑戦～

基調講演・コメンテーター

岩間伸之（大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授）

■略歴

- ・1965年生まれ
- ・同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程後期修了
- ・社会福祉学博士
- ・社会福祉士
- ・特定非営利活動法人 西成後見の会 代表理事

■専門領域

社会福祉学／ソーシャルワーク論

○主な著書

- 『対人援助のための相談面接技術』中央法規出版, 2008年(単著)
- 『支援困難事例へのアプローチ』メディカルレビュー社, 2008年(単著)
- 『援助を深める事例研究の方法(第2版)』ミネルヴァ書房, 2005年(単著)
- 『ジェネラリスト・ソーシャルワーク』ミネルヴァ書房, 2004年(共訳)
- 『ソーシャルワークにおける媒介実践論研究』中央法規出版, 2000年(単著)

シンポジスト

藤田孝典（社会福祉士、NPO法人ほっとボット代表、社会福祉事務所～ほっと～代表）

■略歴

- ・1982年生まれ
- ・2005年 東京国際大学人間社会学部 福祉心理学科卒
- ・2007年 ルーテル学院大学大学院総合人間学研究科 社会福祉学専攻 博士前期課程修了(社会福祉政策)

大学3年より『新宿スープの会』の夜回り活動に参加。新宿の経験を埼玉で活かしたいと考え、大学院1年目よりさいたま市北区を拠点としてボランティア団体『ほっとボット』を組織し、野宿生活者の相談活動、アパート移行、病院同行などを行う。現在のほっとボットでは、野宿者に限定せず、生活困窮状態である方や、家がない方の相談支援活動を展開している

○論文など

- ・日本住宅協会編(2008)「地域の社会資源を活用したホームレス支援とハウジング」『住宅VOL.57,2008 特集/まちなか居住』
- ・自治研中央推進委員会編(2008)「野宿生活者を地域社会でサポートする～どんなひとにも「住居が先」の実践～」『月刊自治研VOL.51 わがまちの人口』
- ・自由法曹団編著(2009)「水際作戦をなくすために」『なくそう!ワーキングア～労働・生活相談マニュアル～』学習の友
- ・女子パウロ修道会編(2009)「この時代にこそネットワークと連帯を」『あけぼの2009年6月号「格差・貧困」時代の希望―「人生」を生き抜く力―』
- ・新日本出版社編(2009)「地域でつくる福祉のネットワーク～家を失った人たち地域で支える～」『経済09年11月号』

シンポジスト

荒木澄玲（住吉・御影あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)社会福祉士）

■略歴

- ・1999年 関西学院大学総合政策学部卒
- ・2003年 社会福祉士(南海福祉専門学校の通信過程修了)
- ・2006年 精神保健福祉士(はりま保健福祉学院の通信課程[短期]修了)
- ・2007年 介護支援専門員

大学卒業後小売業に就職。働きながら社会福祉士養成通信課程に在籍し、2001年に特別養護老人ホーム介護職に転職、2003年住宅介護支援センター・ソーシャルワーカーに異動。在宅介護支援センターの閉鎖に伴い、2006年に社会福祉法人神戸老人ホームに転職し現職。

シンポジスト

金澤ますみ（社会福祉士・大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー）

■略歴

大学時代は児童福祉を専攻。3回生のときに、児童自立支援施設(当時の教護院)で社会福祉実習を行い、4回生では公立高校において教育実習を行う。その後、滋賀県中央児童相談センター一時保護所嘱託指導員、京阪奈社会福祉専門学校専任教諭などを経て、2005年度より、大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカーとして活動をはじめ現在に至る。

- ・学校内外で『つながる』ことの重要性とその課題～スクールソーシャルワーク活動から～』『社会臨床雑誌』15(3), 2008年
- ・『教育現場における虐待予防——スクールソーシャルワーカーからのレポート』津崎哲郎・橋本和明編著『児童虐待はいま』ミネルヴァ書房, 2008年
- ・『児童虐待と貧困—スクールソーシャルワークの現場から』解放教育研究所編『解放教育』2月号, 明治図書, 2009年
- ・『スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの協働の可能性』『学校ソーシャルワーク研究』4, 2009年